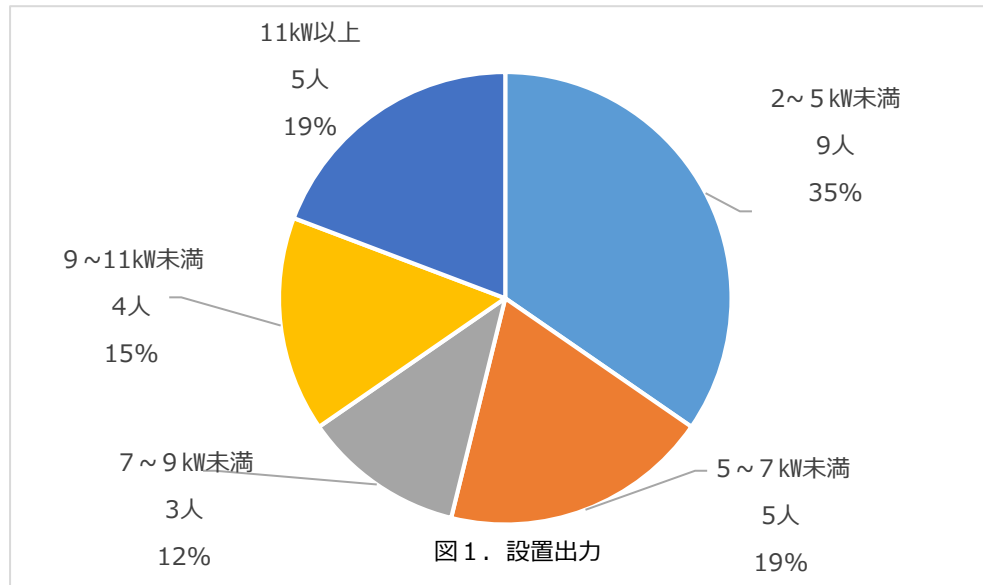




十日町市再生可能エネルギー活用促進費補助金 導入効果アンケート結果

- 調査期間：令和3年6月1日～6月30日
- 調査対象：平成29年～令和2年度十日町市再生可能エネルギー促進費補助金を活用した方
- 調査方法：郵便による調査票の配布及び回収
- 回収率：58%(対象者45人中 回答者26人)

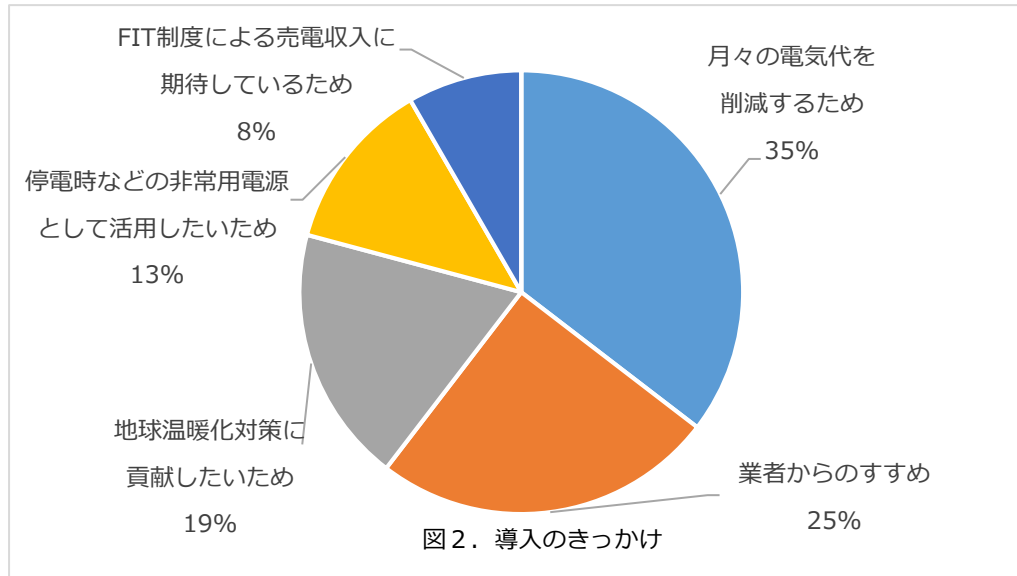
【設置出力】



世帯人数	平均出力 (kW)
全体	7.3
世帯人数 1人	4
世帯人数 2人	5.7
世帯人数 3人	7
世帯人数 4人	8.6
世帯人数 5人以上	8

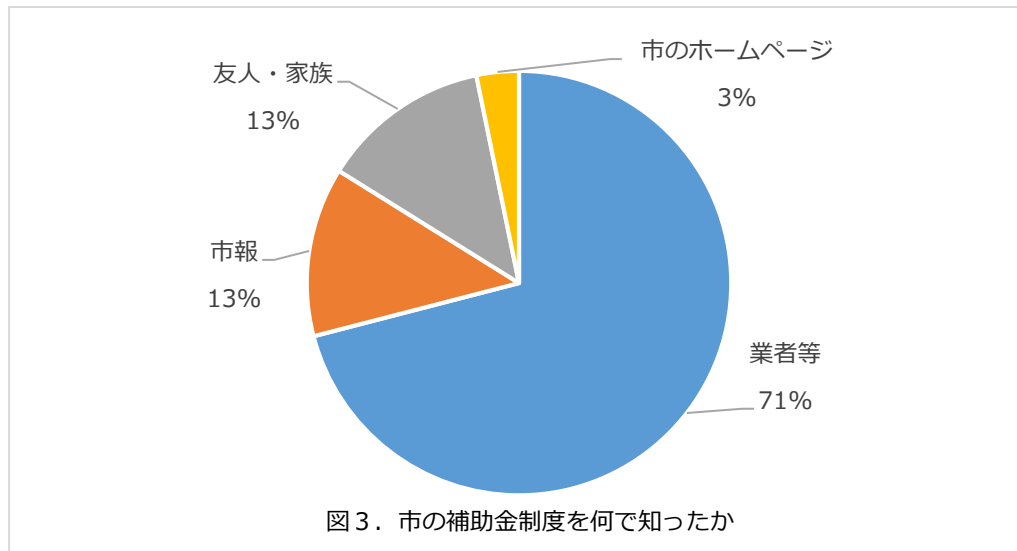
今回のアンケート回答者の平均出力は7.3 kWであり、世帯人数別で見ると世帯人数の増加とともに出力が増加していることがわかります。

Q1 太陽光発電設備を導入しようと思ったきっかけは何ですか（複数回答）



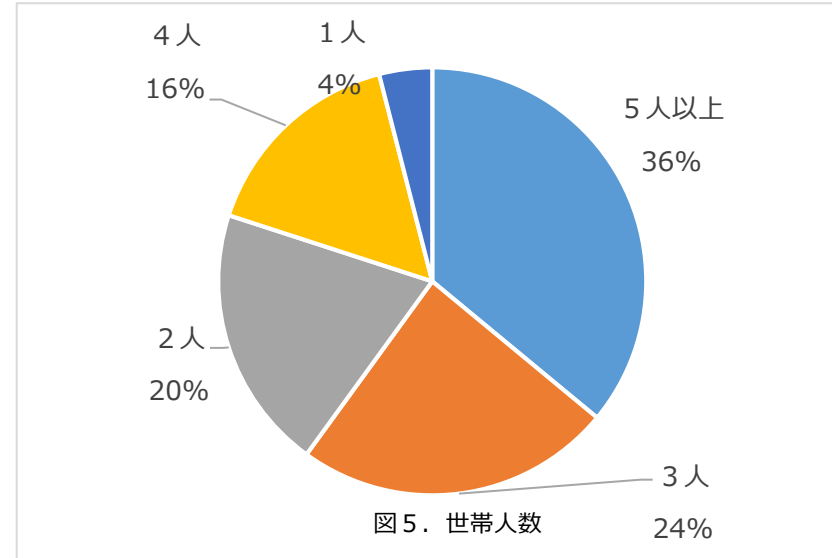
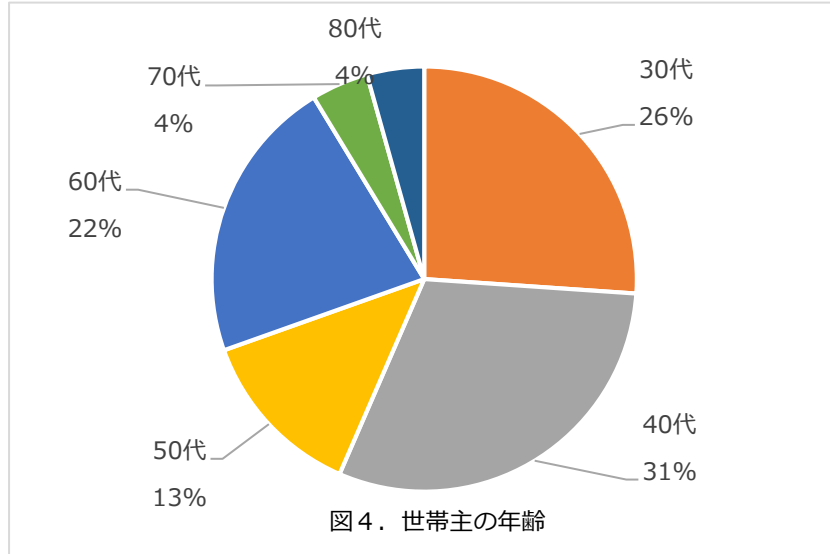
導入のきっかけは、「電気代の削減」（35%）が最も多く、次いで「業者からのすすめ」（25%）、地球温暖化対策（19%）と続きます。また、「FIT制度による売電収入に期待している」（8%）と「電気代の削減」を合わせると43%であり、経済面への期待から導入していることがわかります。

Q2 市の補助金制度があることは何で知りましたか（複数選択）



約7割が施工業者等を通して補助金の情報を得たことがわかります。今後も、市民や事業者に対して積極的に情報発信していきます。

Q3 世帯主の年齢や世帯人数を教えてください（該当する数字に○を記入ください）（選択式）



Q4 太陽光発電の年間の利用状況を教えてください（記述式）

導入前後の電気料金の比較（設置前－設置後）
45,639円の削減

導入前後の電気料金を比較すると、年間平均で45,639円削減されていることがわかりました。

また、アンケート結果から、豪雪地帯でも一定の発電量が見込めることがわかりました。

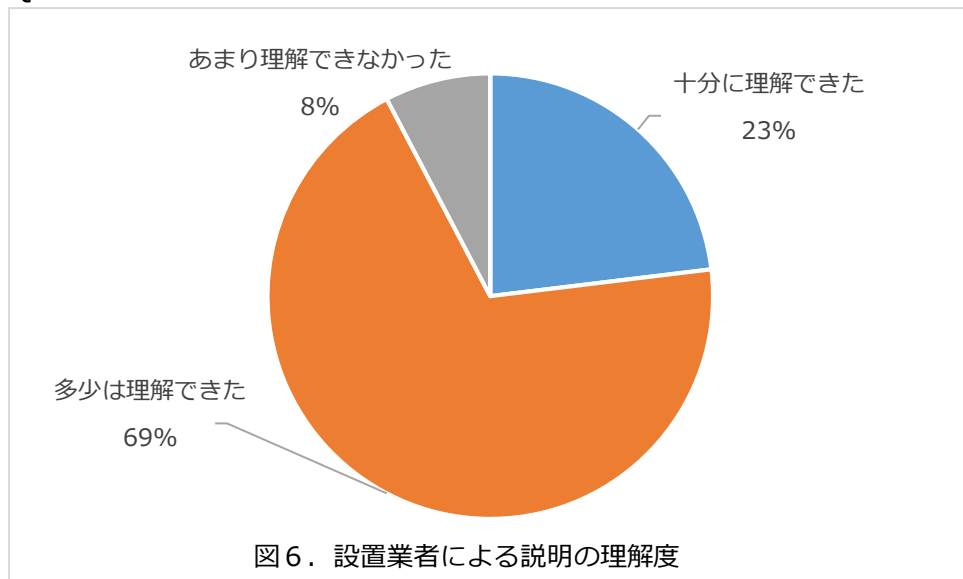
※H29年度～R1年度については、太陽光発電を設置していなかった場合の電気料金を推定し、算出しました。

R2年度については、前年度の電気料金との差額から算出しました。

※固定価格買取制度（FIT制度）による余剰売電を行っている場合は、電気料金の削減に加えて売電収入を得ることができます。

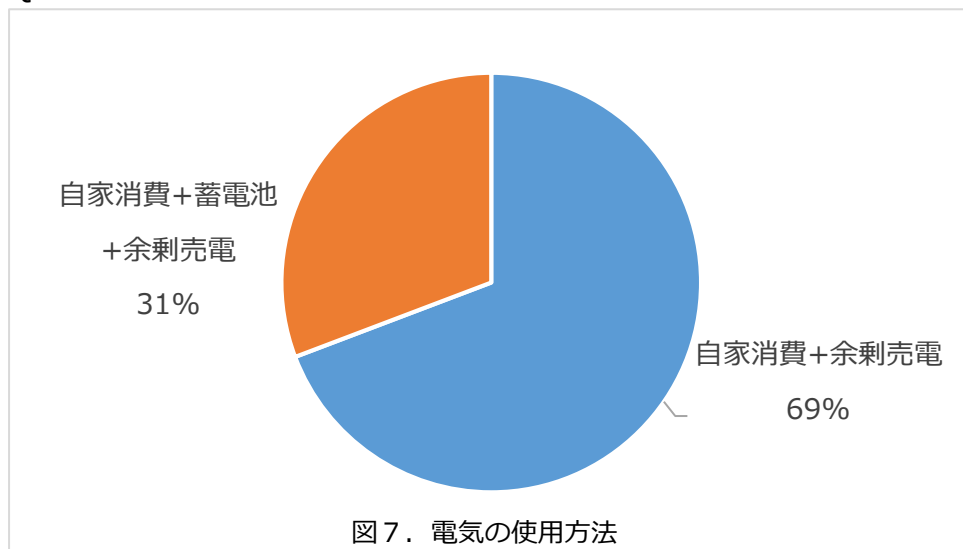


Q5 太陽光発電設備の取扱いや点検について設置業者からの説明は十分に理解できましたか。



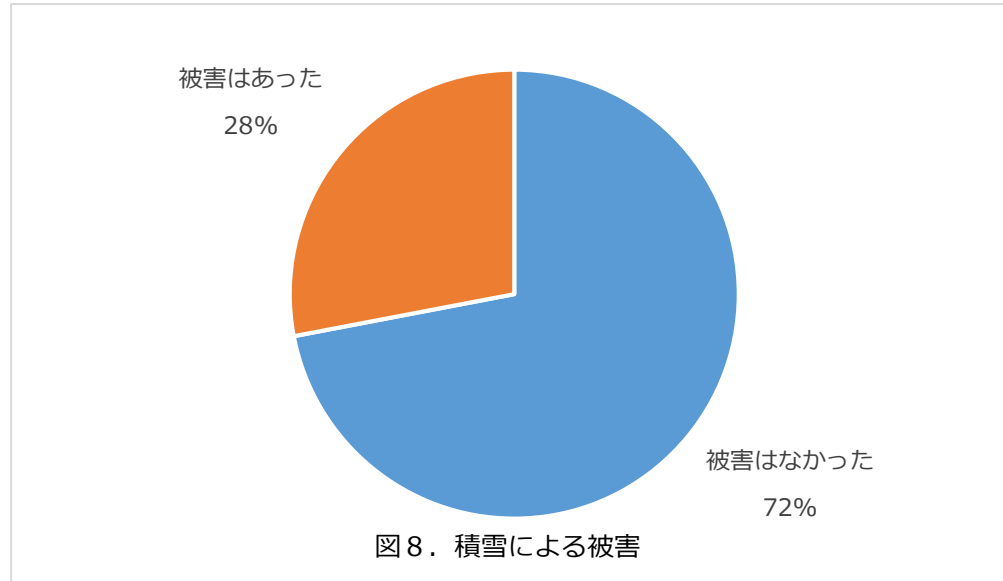
設置業者からの説明について、「十分に理解できた」(23%)、次いで「多少は理解できた」(69%)と大半の方が理解して導入したことがわかります。一方で、「あまり理解できなかった」が8%あり、未然のトラブルを防ぐためにも、導入前に設置業者とよく相談しましょう。

Q6 発電した電気はどのように使用していますか。(選択式)



「自家消費+余剰売電」が69%と約7割が経済性を重視して余剰売電をしていることがわかります。一方で、「自家消費+蓄電池+余剰売電」が31%であり、太陽光発電と蓄電池を設置する自家消費型も一定数いることがわかります。

Q7 これまで積雪による被害はありましたか。被害があった場合は、具体的な被害も記入ください。



▼具体的な被害例

- ・積雪でほぼ発電なし。
- ・大雪時に屋根の雪が溶けない。
- ・雪の塊が屋根から落ち、はめ板を破損した。
- ・雪が落雪せずに軒先・軒樋を損傷したが、パネルは大丈夫。
- ・パネル設置（固定金物）の突起が雪止めのようになってしまう、自然落雪の雪がまったく落ちなかった。

👉落雪対策について

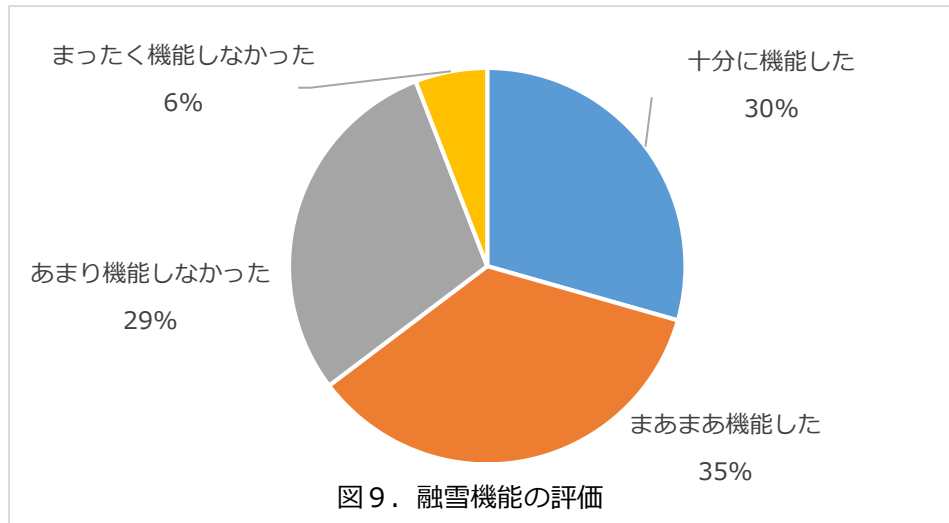
近年、融雪機能付き（一体型または後付け）の太陽光発電設備の設置が増えています。

また、設置方法が落雪の支障となっていないかなど、落雪対策について設置業者とよく相談しましょう。

Q8の質問では実際に融雪機能付きの太陽光発電設備を設置した方への質問・回答を記載しました。

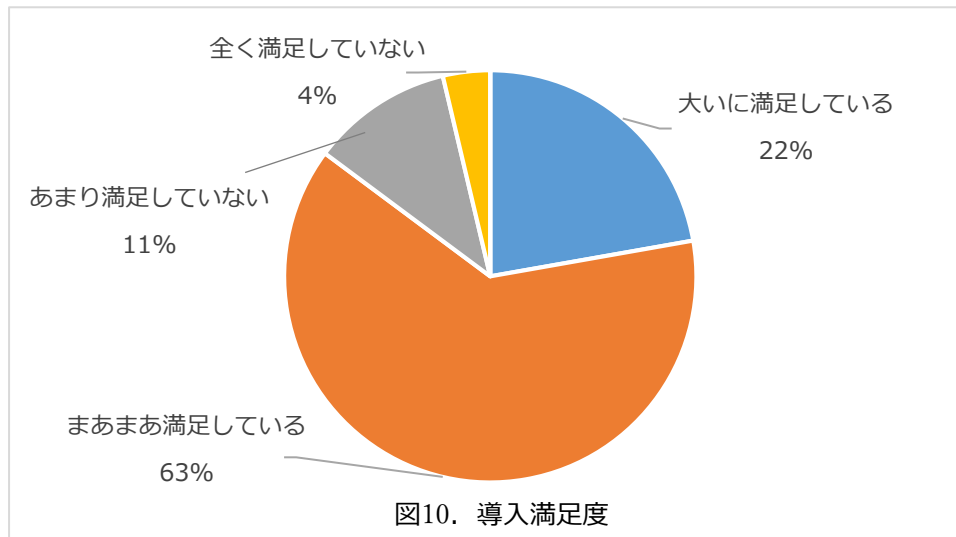
(融雪機能付きの太陽光発電設備を設置された方のみお答えください)

Q8 冬季期間に融雪機能は十分に機能しましたか。



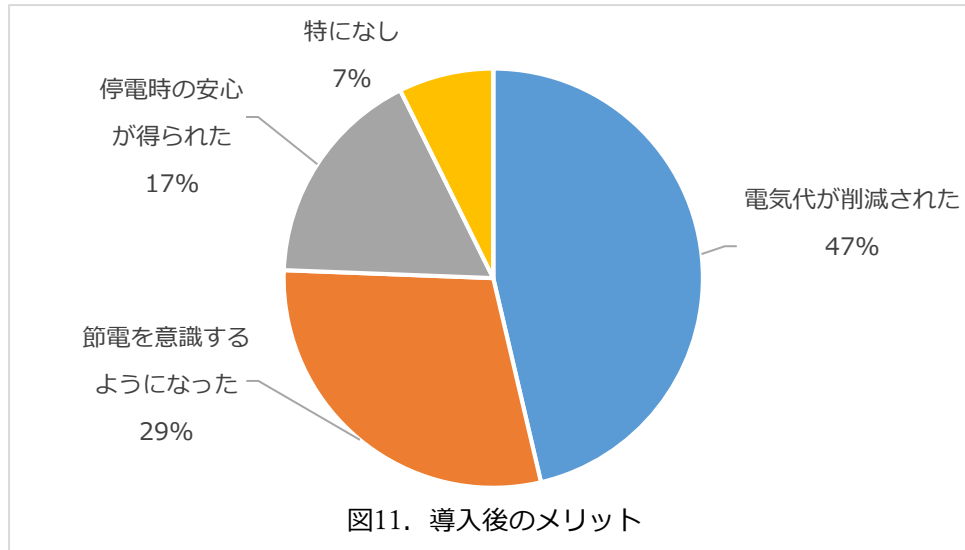
「十分に機能した」(30%)と「まあまあ機能した」(35%)を合わせると65%となり、一定の機能を発揮していることがわかる結果でした。一方で「あまり機能しなかった」(29%)、「まったく機能しなかった」(6%)との回答もありました。融雪、落雪対策について設置業者とよく相談しましょう。

Q9 太陽光発電設備を導入してみて、どのくらい満足していますか。(選択式)



「大いに満足している」(22%)、「まあまあ満足している」(63%)を合わせて8割以上が「満足している」と回答し、太陽光発電設備の導入満足度が高いことがわかります。

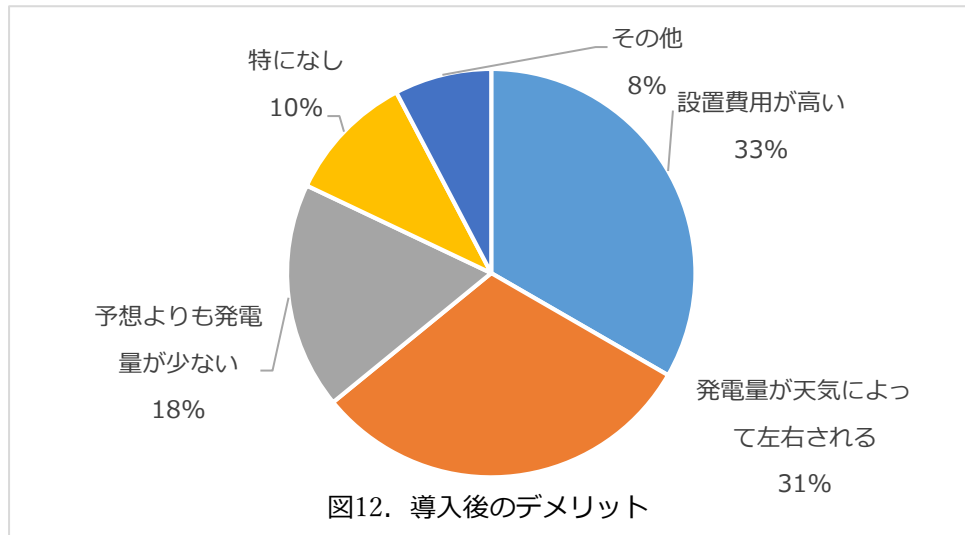
Q10 導入してみてわかった、メリット・デメリットを教えてください。(複数選択式)



電気代の削減による直接的効果のほか、節電意識の向上、災害時等への備えとして心理的安心感の向上にもつながっています。

▼その他の回答

- ・少しでも地球温暖化対策に貢献しているという自己満足。



改善点として、設置費用や天気による発電量の変動に対する意見が多い結果となりました。

▼その他の回答

- ・融雪機能付きの太陽光発電設備は冬の電気代が高くなる。
- ・大雪になると融雪が機能しているのか心配になった。暖冬であれば、メリットになる。
- ・屋根の構造上「雪われ」があるため、パネルとの間に隙間があり、そこに雪がつもりすぐ解けないことが分かった。

など、雪国ならではの課題も見受けられます。

Q11 太陽光発電や蓄電池等を導入したエピソード（成功談・失敗談等）を教えてください。

～成功談～

- ・発電量と消費量がパネルに表示されるので時々見ている。お客様にも紹介している。夏より秋、冬場も太陽高度の関係で意外と発電しているうれしかった。
- ・停電の時には良いと思っている。
- ・自分たちが60歳代になってからの導入で、これから先何年生きられるか？設置にかかった金額のことを考えるとどうだったかなと思うこともあるが、これからは再生可能エネルギーの時代だと思うので、まあいいかと思うことにした。
- ・これから家を建てられる方には是非すすめたいと思う。
- ・思いのほか発電するのでびっくり。くもりの日も発電するので、（雨の日も発電している様子）発電しない日がないのではないかと驚く。もっと早く導入すればよかったと後悔。

～失敗談～

- ・家屋の立地条件により屋根の向きが決まってしまう、パネル設置位置により発電が少ないと思われる（東向きに設置）。
- ・パネルに雪が積もらない処置をしていなかったため、冬期間は屋根が大変なことになっている。
- ・売電単価が思っていたよりも安かったため、蓄電池も同時設置した方が良かったと思った。
- ・設置計画時より売電単価が5円も下がり、設置費用の回収が難しくなった。蓄電池の設置も検討しているが費用が下がらないと難しい。
- ・パネルの設置枚数については業者から言われるままに設置してしまったため、ローン返済が思ったより高額となった。
- ・当初、落雪式の屋根で融雪ヒーター内蔵パネルなら今までと同じ様な雪の落ち方を予想したが、雪の降り方、気温にも左右されるが1mくらい溜まって一気に落ちるといった感じでした。以前はパタパタと落ちていたので、下の囲い板等が折れてしまいました。

(定置用蓄電池を導入された方のみお答えください)

Q12 定置用蓄電池を導入した感想をご記入ください。(自由回答)

- ・昔と違って蓄電池の大きさも随分小型になり、値段も安くなり、家の中にあっても特段邪魔にもならないのでパネルとセットになったら安くなるとの業者の説明に思い切って導入した。
- ・今後の非常時・停電時のために導入した。
- ・夜間時の電気代が賄えているのが良い。
- ・導入金額の割に活躍していないと思う。
- ・発電に目を奪われてあまり効果を感じていないが、くもりの日でも発電していると感じるのは少ない発電量を貯めているからかもしれない。
- ・設置費用が高額すぎる。